

※黎明(れいめい)：明け方、夜明けの意

地域住民の生命・健康・生活を守りたい
特集 災害医療のスペシャリスト

鶴岡・田川3病院地域包括ケアパス連携協定を締結しました

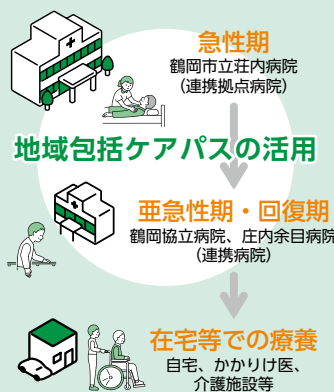


令和5年4月、鶴岡市立荘内病院(鈴木聡院長・鶴岡協立病院(堀内隆三院長)・庄内余目病院(寺田康院長)の3病院は、地域全体で患者さんの療養生活を支援するため、「鶴岡・田川3病院地域包括ケアパス連携協議会」を立ち上げ、同年5月31日に連携協定を締結しました。

今後、3病院だけでなく、地区医師会やかかりつけ医、介護施設等にも参加を呼びかけ、地域全体で患者さんが安心して治療を継続できるよう、地域包括ケアパスの運用を発展させていきます。

- 1 先々の見通しを立てた治療のスケジュールを事前に示すことによる、患者さんやご家族の不安解消・医師の業務効率化
- 2 パス使用による標準・効率的な診療の提供
- 3 急性期病棟の在院日数の短縮
- 4 連携病院の病床稼働率の上昇

連携により期待される効果



「パス」とは、診療計画表を意味するクリティカルパスのことです。このパスを3病院で共有し、患者さんの治療を役割分担することで、急性期治療、その後の亜急性期・回復期治療、在宅等での療養への移行をスムーズに行うことを目指します。

対象

原則、65歳以上の高齢者で、誤嚥性を含む肺炎、尿路感染症、心不全などの患者さん

「地域包括ケアパス」とは

私たちの決意

鶴岡・田川地域の3病院は、地域の医療機関、介護保健施設等や行政と密に連携をとりながら、地域包括ケアパスを運用していきます。

地域住民に医療の標準化と質の向上を保証し、患者さんがこの地域で、安心して医療を受けられる環境整備を進めてまいります。

地域住民の
生命・健康・生活
を守りたい

鶴岡市立荘内病院

鶴岡市立荘内病院は災害時に地域の医療・救護活動の拠点となる**災害拠点病院**に指定されています。今回は、地域の方々の生命・健康・生活を守るために当院で活動する災害医療のスペシャリストを紹介！

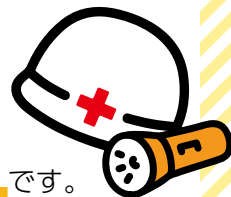
災害医療

のスペシャリスト

01

当院の災害看護専門看護師 木村晃一さんに聞きました！

災害看護専門看護師ってなに？



被災者の心身の健康レベルを維持するために看護活動を実施する**災害看護のスペシャリスト**です。災害発生時だけでなく、平時には多職種と協働しながら防災・減災活動を行っており、2023年現在で全国に36名います。

地域住民への啓発活動としては、院内に防災・減災に関する情報を掲示しているほか、災害医療の知識と災害看護力向上のために研修会を実施しています。行政、消防、地域の医療・保健・福祉分野の方々とも連携し、**地域全体の災害医療の充実を図っています。**



災害看護専門看護師を目指したきっかけは？

新潟中越沖地震をきっかけに、災害現場で「1人でも多くの命を守りたい」との思いから救急医療や病院前救護について経験を積んできました。病院としての受入れ体制構築にも関わる中、多くの災害関連死*が発生していることを知り、防ぐことのできるケガや慢性疾患の増悪などを最小限にできないかと考えるようになりました。

その実現のため、医療だけでなく**保健・福祉や行政、消防などと連携しながら、地域住民とともに減災・防災への備えを強化することで災害に強い街づくりをしたい**と思い、**災害看護専門看護師を目指しました。**

*災害関連死とは、災害による負傷の悪化または避難生活などにおける身体的負担による疾病により亡くなる被災者（参照：内閣府防災情報サイト）

生まれ育った病院・地域で、これまでの経験を生かし、災害に強い街づくりをしたい！
災害医療は行政との連携が重要であり、同じ組織内の市民病院であることを生かして地域医療を支えることができる！

専門看護師になるには

STEP01

看護師・保健師・助産師
いずれかの資格を取得

STEP02

通算5年以上の実務経験
看護系大学院修士課程修了

STEP03

認定審査
(筆記試験)

災害看護専門看護師
木村 晃一
Kimura Koichi



2011年 亀田総合病院 勤務
2015年 日本DMAT隊員資格取得
2019年 鶴岡市立荘内病院 勤務
2020年 日本赤十字看護大学院
国際災害看護領域 入学
2022年 災害看護専門看護師
認定審査合格

荘内病院DMAT隊員

計12名で構成

医師 2名
看護師 5名
業務調整員 5名



1チーム4~5名



災害時、命も心も救う
医療チームがあります

DMAT

(ディーマット)

災害派遣医療チームを意味する

「Disaster Medical Assistance Team」の頭文字をとって
「DMAT (ディーマット)」と呼ばれています。

医師、看護師、業務調整員（薬剤師・臨床工学技士・理学療法士・放射線技師・臨床検査技師・事務職員等）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）から活動できる機動性を持った、

専門的な訓練を受けた医療チームです。

1995年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」で災害医療の課題が浮き彫りとなったことから、

“一人でも多くの命を助けよう”

と日本DMATが2005年4月に発足しました。

引用：「厚生労働省DMAT事務局」HPより

荘内病院DMAT 災害派遣の実績

平成30年9月6日に最大震度7を観測した北海道胆振東部地震で、DMAT東北ブロック（新潟県含む）に対し災害派遣の要請がありました。荘内病院は医師1名、看護師3名、業務調整員1名の計5名を派遣し、これが初めての災害派遣となりました。現地では、被災地域の医療施設・避難所の巡回や、現状とニーズの把握・報告の任務を遂行しました。

令和6年1月1日に最大震度7を観測した能登半島地震では、荘内病院から6名の隊員を派遣し、2日間の災害支援活動を行いました。



写真：北海道胆振東部地震での活動の様子



首都直下型地震や局地災害等を想定した実動訓練

大規模地震を想定した政府訓練や東北ブロックの参集訓練に参加し、災害医療のレベル向上に努め、防ぐことのできた災害死をなくすため訓練を重ねています。

鶴岡市消防本部との合同訓練等地域の関係機関と連携を図る訓練も実施しています。



専門看護師とは？

特定の専門分野において卓越した看護実践能力を持つと認められた看護師のことです。災害看護専門看護師を含む14分野が専門分野として特定されています。

6つの役割

01
実践

02
相談

03
調整

04
倫理
調整

05
教育

06
研究

お知らせ



鶴岡市立荘内病院 × 国立がん研究センター東病院 市民公開講座

内容 ▶ がん相談外来について / 病院間の連携 / 遠隔アシスト手術について ほか

令和2年7月、国立がん研究センター東病院と医療連携に関する協定を締結しました。
3周年を記念し、市民の皆さまに全国に先駆けた新しいがん医療モデルの「今」をお伝えします！



令和6年3月23日(土) 14:00-16:00 (予定)

会場 鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール
定員 200名(申込先着)
申込 ①電話 ②FAX(チラシ裏面) ③申込フォーム(当院ホームページ内)
【問合せ・申込み】総務課経営企画係(内線6327)

詳細・申込みは
こちらから



医師修学資金貸与者募集

当院で将来医師として勤務いただける医学生に修学資金を貸与します。
大学卒業後、一定期間を当院で勤務すれば貸与資金の返還が免除されます。

年額
200万円
以内貸与

【問合せ】総務課経営企画係(内線6327)



詳細はこちらから



専門医取得後の勤務でも間に合う

他医療機関での研修等による中断も可能

申込期間

令和6年4月1日(月)～5月31日(金)

鶴岡市立荘内看護専門学校

令和7年4月
新校舎
開校予定

詳細はこちらから



完成イメージ図



吹き抜けで明るく開放感のある環境、高機能機器のあるシミュレーション室や実習室など充実した設備や指導体制で、地域医療に貢献する看護師を育成します。

【問合せ】管理課施設係(内線6324)

地域の皆様からたくさんの「つるマフ(認知症マフ)」を頂きました。ご協力ありがとうございます。



つるおかオレンジ
サポートの会



大塚町さくら会



湯田川地区婦人会

個人の方からもかわいらしくカラフルなマフをたくさん頂きました。

当院の認知症入院患者さんが、マフを触ったりにぎったりして使わせていただいております。



「ヒポクラテスの木」といわれる
プラタナスの葉がシンボルマーク
として使われています。

鶴岡市立荘内病院
Tsuruoka Municipal Shonai Hospital

〒997-8515 山形県鶴岡市泉町4-20
TEL: 0235-26-5111 (代表) FAX: 0235-26-5110
HP: <https://www.shonai-hos.jp/>

ホームページは
こちらから



SNS一覧は
こちらから

